

家庭学習のてびき

(3・4年生のみなさんへ)

1 なぜ家庭学習をするの？

みなさんは、じゅ業中にできていたことが、2～3日もすると分からなくなったということはありませんか？「毎日、学習したことをきちんとふく習していくこと」は、とても大切です。また、「次に学習するところを前もって読んでおいたり調べたりすること」でじゅ業の内ようがもっとよく分かるようになります。

根気強く『予習→じゅ業→ふく習』のくり返しをつづけることで、どんなことでもがんばりつづける力がついていきます。さらに、自分をもっと知りたいことなどを調べる発てんてきな学習をすることで、楽しく学ぶ力もついていきます。

2 どんな学習をするの？

- ① まず、宿題があるときは、はじめにやりましょう。
 - ② 次に、ふく習するべきことがあればやってから、予習に取り組みましょう。
 - ③ さらに、発てんてきな学習に取り組みましょう。うら面の「かく教科の学習」をさん考にして、きょう味のある学習を自分で見つけて取り組みましょう。
- ☆ まずは、ノートを使って学習しましょう。

3 どのくらい学習するといいの？

3年生なら40分間い上、4年生なら50分間い上が目安です。毎日つづけることが、大事です。

4 どんなことに気をつけて 学習するといいの？

- 1 家庭で時こくや時間を決めて、かならず行う。
- 2 始めたら、立ち歩かずに集中する。
- 3 えんぴつを正しく持ち、よいしせいで学習する。
- 4 テレビをつけず、しずかな場所で学習する。

かく <各教科の学習の例> (3・4年)

①…復習

②…予習

③…発展学習

を表しています。

<国語>

- ① 学習したところを音読する。新出漢字の練習をする。漢字辞典などで、新出漢字の読み方、成り立ち、書き順、漢字のじゅく語や例文などを調べて、ノートに書き写す。
- ② 次に学習するところを読んでみる。教材文や詩などを写し書きする。(視写)
国語辞典をひいて、わからない言葉の意味調べをする。
- ③ 日記を書いてみる。詩を書いてみる。読書感想文を書いてみる。ことわざを調べる。
同じ部首の漢字集めをする。新聞を読む。新聞の気になる記事を読んで、意見をまとめる。

<算数>

- ① プリントや問題集、教科書の同じような問題をさがしてといてみる。大切な部分をノートに書く。
まちがえた問題に再チャレンジして、どこをまちがったのか、考えてみる。
教科書や授業ノートに書かれた問題のとき方を家庭学習ノートに視写する。
基本的な計算練習に毎日5分以上取り組んでみよう。(スピードと正確性をのばす。)
- ② 次に学習するところを読んでみる。新しい問題にチャレンジして、答えを予想してみる。
わからないところにアンダーラインを引いたり、ふせんをはったりする。
- ③ 学習したことをもとに文章問題を作ってみる。くらしの中から問題を見つけてもよい。答えも書く。
学習したことを生活の中で役立ててみる。例えば、買い物したときのおよそのねだんを暗算してみる。生活の中で分数や小数で表しされている物を探してみる。

<社会>

- ① 学習したところを音読する。たいせつなことをノートに書く。絵や図も書いてみよう。
- ② 次に学習するところを読んでみる。きょうみをもったことをノートに書く。
- ③ 図や表などから、わかったことや考えられることをノートに書く。
学習したところに関係ある新聞記事があれば、切りぬいてノートにはったり、メモしたりしておく。
47都道府県名と県庁所在地をおぼえ、地図を見ておよその場所がわかるようにする。
地図記号をノートに書きだしておぼえてしまおう。

<理科>

- ① 学習したところを音読する。たいせつなことをノートに書く。
教科書の単元の終わりに書いてある「学習のまとめ」をノートに視写する。
- ② 次に学習するところを読んでみる。きょうみをもったことをノートに書く。
- ③ 身近な植物や生きものをかんさつして、文や絵にかく。学習したところに関係ある新聞記事があれば、切りぬいてノートにはったり、メモしたりしておく。
生活の中の「なぜ?」「不思議!」を見つけて、ノートに書く。
例えば、植物を育ててみる。くだものの種を植えてみたり、わって中をかんさつしたりしてみる。
星や月、太陽のいちを1時間ごとにかんさつしてみる。気がついたことをノートに書く。
星や星座の名前をおぼえ、じっさいの夜空を見てたしかめる。